

「令和4年度 議会報告・意見交換会」の振り返り・総括

1 ブロック内2会場としたことについて

(視点)

- ・7日間の日程の中で14会場に分散して実施したことについて
- ・会場準備、運営の人員配置について

①特に問題はなかった(8名)

②問題があった

◇課題・改善点

委員長) 市民、まちづくり会長からは地区ごとでの開催は良い。今後もこうしたらどうかとの意見があった。

西森委員) 開催側の人数的には、準備も含め障害はなかった。会場により参加者の人数にばらつきが大きかった。

宮脇委員) 各会場参加者からも、分散型への良い評価の声も頂け、鼎会場では松尾で全体会を行い、鼎へ戻っての意見交換会は移動にも時間がかかり大変なので、今回の方法を継続して欲しい、とあった。

古川委員) コロナ禍のなか、工夫し協力し合い良くできたと思います。

新井委員) ただ例年通りのブロック単位実施が望ましい。(参加者それぞれが、他地区の様子もわかるため)

2 開催期間中の打合せについて

(視点)

- ・令和4年度は初日(9/28)と翌日(9/29)、週明け初日(10/4)と2日後(10/6)に全体会及び分科会の打合せの機会を設けたが、開催日等は適当であったか。

①適当である(7名)

②見直した方が良い(1名)

◇課題・改善点

委員長) ポイント(節目)だけで良いのでは。

西森委員) 委員会が2つに分かれるため、全体会・委員会打合せ会が設けられたのはよかった。

宮脇委員) 初めての経験でもあり、丁寧な打合せがあり分かり易かった。

3 分科会の構成について

(視点)

- ・委員会報告、意見交換会、まとめ及び総括の時間配分は適当であったか。

①適当である(7名)

②見直した方が良い(1名)

◇課題・改善点

西森委員) 時間配分は適度であり良かったと思う。

筒井委員) 委員会報告と意見交換の時間配分は半々または意見交換の方を多くした方が良いように思えた。

古川委員) 委員長の進行も良く、まとまっていたと考えます。

4 委員会報告、意見交換会の内容（運営）について

(視点)

- ・参加者が参加して良かったと思ってもらえる内容（運営）であったか。
- ・委員会報告や所管事務調査の説明を参加者が理解していたか。伝えることができたか。
- ・参加者からの意見を十分聴くことができたか。

①よくできた (2名)

②どちらかと言えばできた (5名)

③どちらともいえない

④どちらかと言えばできなかった (1名)

⑤まったくできなかった

◇課題・改善点

委員長) 委員会報告は詳しくしていないが、意見交換に重点を置くこととした。意見交換の時間が短かった。

小平委員) 参加人数が多いと話が聞けない方もいた。リーダー格の方の現状話も聞きたい内容もあった。進行者により内容が変わるので大まかな統一性も必要。

西森委員) 各自治組織に、委員会のテーマ・趣旨が事前に共有できていると、テーマ対する地域課題の共有が深くできると思う。

各委員会にて適正人数が設定でき、各自治振興センター長を通じて参加人数の調整をお願いしないと、参加者全員からの意見聴取が行えない。また、少ない人数だと個人的意見となってしまう地域の課題と成り得ない可能性が生まれる。

宮脇委員) テーマとして防災を取り上げ、参加者も「身近な課題であり良い」とコメントを頂いた。所轄事務調査内容は、一昨年の内容となり理解されたかは、分からない。参加者がどの分科会へ行くのか当日決まった地域もあり、十分な意見交換とはいかない地域もあった。

筒井委員) 参加者からの意見を十分に聞くことができたかと言われるともっと広聴に重点を置いた方が良くないか。参加者の満足度アンケートにも表れているように感じた。

古川委員) 総務の内容も「防災」とわかりやすく全体に良かったのでは。

5 常任委員会としての総括・次年度に向けて改善点等（自由記述）

- ・常任委員会の準備段階からの全体スケジュール、運営にあたっての準備品などなんでも
